

Made
In GIFU
新商品 新開発

タブレット端末などのタッチパネル用ペンの芯

(株)田幸「タッチチヨーク」 (仮称)

こんなの欲しかった！あると便利♪

スマートフォンやタブレット端末の普及により、タッチパネルの用途は急激に増えています。しかし、その操作に使う専用ペンなどの周辺器具にはまだ普及・開発がそれほど進んでいないのが現状です。そこで(株)田幸では同社の優れた開発技術を応用することに着目。各種芯地、特殊梳毛糸などの生産・販売のノウハウを生かし、タッチパネル用ペンの芯を開発・提案。今回は開発者である(株)田幸 取締役繊維素材部部长 田中泰昭さんに、その軌跡をお伺いしました。

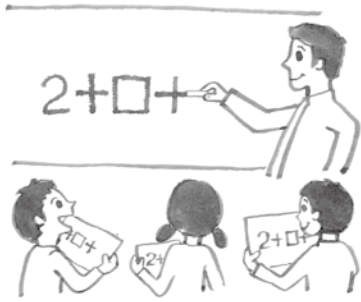
私が開発者です/



(株)田幸 取締役繊維素材部部长
田中泰昭 さん

「昔、先生にチョーク投げられたことあったなあ」

きっかけは田中さんのこんな思い出からでした。田中さんは、新商品の開発に様々な思いを馳せるなかで現在普及の進むタッチパネルの用途に注目していました。そのなかでタッチパネルが学校教育のなかで黒板やノ-



トの役目としてあたりまえに使われる時代が来ていることに興味を深め、今使用されている周辺器具を調べ出しました。

そこで目に留まったのが「専用のペンの芯」。その性能がまだ市場で成熟していないことに気がつきました。

そして

「これって、昔の『チョーク』のように、丈夫で軽いものがあつたらいいんじゃないか」と考えるようになり：

「それなら材料はうちにある！
——作ってみよう。」

想いは決まりました。

その「材料」とは——

それは、この新商品の開発の「元となる商品」の成功にありました。

(株)田幸では、2010年にスマートフォンなどのタッチパネル対応の手袋向けにDOD(耐久性導電繊維)と呼ばれる品質にこだわったアクリル繊維の開発に着手。その糸には硫化銅が含まれており、高い導電性を持ち、耐洗濯性・耐磨耗性に優れた点が高く評価され、発売以来スマートフォン用の手袋、オフィス機器の除電ブラシ、衣類の放電用縫い糸など多方面で活用されてきました。

それを、樹脂やポリエステルなどで固めて芯に加工。それがこの新商品「タッチチヨーク(仮称)」なのです。

サクサク動きます！



驚くほどソフト！

実用新案出願済

8月発売予定/

Coming Soon

この開発商品を使ったタッチパネル用のペンが大手文具メーカーより登場します！今後もOA機器の周辺機器メーカーなどに提案されますます市場拡大を目指します。

(株)田幸
代表取締役 田島一男
〒500-8285
岐阜県岐阜市南鷺5-52
Tel.058-271-6661
Fax.058-271-6719
http://www.takoh.co.jp/

使ってみました！

ペン先が画面にやわらかくタッチ
画面が傷つく心配がなく、
タッチパネルとの相性も良好！

元になる(株)田幸のオリジナル商品「DOD(導電性繊維)」(左)それを固める加工を施し、今回開発されたタッチパネル用の芯(右)



あるため摩擦ではがれることもなく、耐久性が高いのです。

軽い、しかも加工しやすい

また、糸が原料のため既存品よりも軽量にできる上、染色による色付けや硬さの調整などもできるのです。

Q 既存のタッチパネル用ペン芯と比べ、どんな点が優れているのでしょうか？

A いちばん違うのは「タフ」であることです。

現在数多く使用されている商品は、導電性のある材料でゴムを被服するなどしているものが多く、どちらかというと使うと摩擦ではがれやすいのが難点に挙げられていました。

しかしこの芯には硫化銅が含ま浸させて